

2023 年度春季(春休み期間) COIL Plus プログラム 募集要項 Blended Mobility

IIGE 短期派遣プログラム (COIL Plus) 言語・異文化理解重点型

UKM -KU COIL Plus Program : 新興国マレーシアで多文化背景のピアと共修する Blended Mobility プログラム – サステナビリティを考える –

実習先	クアラルンプール 国立ケバングサン大学 (マレーシア国民大学)		
クラス形態	現地プログラム+オンライン国際交流学习で Blended Mobility Program ※Blended Mobility とはデジタル化・オンライン化した教育を、渡航留学活動と有機的に融合した学修です。		
プログラム趣旨	マレーシアは、東南アジアに位置する多様な文化と自然環境を持つ国であり、社会と経済の面でさまざまな特徴を持っています。多文化国家であり、マレー人、中国人、インド人、その他の民族が共存しています。これらの異なる文化的背景からくる多様性が、国の社会を豊かにしています。 そして資源を多く持つこの国は、サステナビリティを理解し学ぶには最適の場所です。マレーシア国民大学とのコラボレーションで、オンラインと現地の双方で日本とマレーシア、そして去年 50 周年を迎えた日本と ASEAN との関係についても多側面から考え、様々なことを学びとってもらえるプログラムとなっています。オンラインの学習活動には、ノースカロライナ大学、デポール大学等、アメリカの海外連携大学の学生も参加し、共修を行います。 なお、このプログラムには国際化促進フォーラムの一環として、明治大学・立教大学の学生も参加する予定です。		
英語運用能力※1	CEFR B2 程度 GTEC 180 以上～、TOEFL ITP 430 以上～、TOEFL iBT 40 以上～、TOEIC 375 以上～、英検準 2 級～		
対象	在学中の学部生・大学院生	担任者	国際部 特任教員・コーディネーター
活動期間	2024 年 2 月 23 日(金)～3 月 2 日(土) 予定	派遣人数	15 名 (最少催行人数 10 名)
活動日程 ※2	2/23 (金)	午前：関西国際空港出発 ⇒ クアラルンプール国際空港到着後、実習先へ移動	
	2/24	国立ケバングサン大学訪問 -研修(英語での講義)	
	2/29	-ワークショップ -Presentation Skills 研修 等	
	3/1(金)	マレーシア証券取引所訪問 / クアラルンプール市街地訪問 等	
	3/2(土)	夜：クアラルンプール国際空港出発 関西国際空港到着(早朝予定)	
食事	朝昼あり / 夜自費	滞在形態	学生寮
参加費用※3	約 35 万円 (2023 年 10 月時点)		
経費支援	<p>上記の参加費用から、文部科学省補助金 (10 万円) を総額から差し引きます。 さらに、各種要件を満たした場合、下記、返済不要の奨学金を支給します。</p> <p>【奨学金】※4</p> <p>①JASSO 奨学金[日本学生支援機構海外留学支援制度 (協定派遣)] : 7 万円 または ②JASSO 渡航支援金[日本学生支援機構海外留学支援制度 (協定派遣)] : 16 万円 ※詳しくは、『9. JASSO 渡航支援金について』を参照ください。 または ③国際交流助成基金による短期派遣奨学金 : 4 万円</p>		

※1 英語運用能力についてはスコア等の提出は不要ですが、英語での面接があります。

※2 活動日程は予告なく変更される場合があります。現地での活動は、土日・祝日にも実施します。

※3 参加費用は目安の金額で設定しており、変更が生じることがあります。参加費用に含まれる費用、含まれない費用は以下の通りです。

※4【経費支援についての補足】

派遣決定後、単位修得が難しいと見込まれる場合は奨学金受給を取り消すことがあります。

航空券手配後、万が一参加を辞退する場合、手数料がかかります。別紙の『手数料』をご確認ください。

尚、文部科学省補助金 10 万円、並びに全ての奨学金を全額返還していただきます。

このプログラムは独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が実施する海外留学支援制度（協定派遣）（重点政策枠）による奨学金の対象になっており、参加者全員を申請手続きさせていただきます。求められている条件を満たし、必要な手続きを行った者から、奨学金受給者が決定されます。条件を満たせず JASSO から受給認定されなかった参加者には③国際交流助成基金による短期派遣奨学金が帰国後支給される予定です。ただし、全ての手続きが完了されない場合、あるいは授業への参加状況や評価が一定の基準に達しない者は、一旦給付された奨学金を返納していただくことがあります。

【含まれる費用】プログラム費（授業料、プログラムに含まれるエクスカージョンなど）、期間中の宿泊費、渡航費（航空券代、燃費チャージ、空港税）、海外旅行総合保険料（ジェイアイ傷害火災保険）、危機管理サービス費（関大 TRS）
【含まれない費用】現地での交通費（宿舍から実習先の移動等）、食費、パスポート申請・更新に係る手続き費用、査証取得が必要な場合の査証及び査証代行費

1. 募集～派遣者の決定までの流れ

募集締切	【締切】11月10日（金）正午
派遣決定	【参加者決定方法】提出書類と面接による選考 【面接日時】実施日時：11月14日（水）11：30～14：50 、 11月16日（木）11：30～14：50 ※実施時間：10～15分程度。申込確認後に詳細をお知らせします。 【参加者決定時期】11月24日（金）頃

2. 申込

【申込方法】

下記 QR コードもしくは <https://forms.office.com/r/nHtqnyZTH4> より、オンラインフォームにアクセスし申し込んでください。



【参加資格】

在学中である（休学中でない）こと

3. 事前・事後研修

※各項目、日時等詳細は選考結果通知後にお知らせします。

事前研修 【必須】	海外渡航時における危機管理 海外における事件、事故、トラブルへの対応方法（関大 TRS の利用方法）、および海外旅行総合保険（ジェイアイ傷害火災保険）の説明をします。
	派遣前研修 2月5日～20日ごろに実施の現地とのオンライン国際交流学修を受講する事。※必須 出発前説明会 プログラム日程の最終確認および実施における重要事項等について説明します。
	アセスメント 渡航前後に参加者の効果を測る何らかのアセスメントを実施いたします。
事後研修 【必須】	実習報告会
	アセスメント 渡航前後に参加者の効果を測る何らかのアセスメントを実施いたします。

※やむを得ない事情（授業との重複等）により研修に参加できない場合は、必ず事前に申し出たうえで、プログラム担当者または国際部からの指示に従ってください。本プログラム参加準備に対して積極的かつ誠実な対応で臨むよう努めてください。

4. 実習報告書

参加者は全員、全活動終了後には実習報告書を提出する必要があります。

5. 単位認定

すべての活動に参加した上で、プログラム内で指定された提出物を提出し、各学部において総合的に評価され認められた場合、単位認定（合格・2単位）を行う予定です。なお、大学院及び今学期卒業見込みの学部生、既に該当科目の単位を修得している学生の場合、単位認定はされません（プログラムの参加は可能です）。また、学部・年次により単位認定の取扱（科目の位置づけや卒業所要単位への算入）が異なりますので、下記及び HAND BOOK を必ず確認してください。

※単位認定科目名

2021年度以降入学者

【グローバル科目群】KUGF Field Study (Blended Mobility Program - Malaysia)

2020年度以前入学者

【グローバル科目群】KUGF Field Study (International Collaborative Learning)

6. サポート体制

現地での活動は、受け入れ先機関がサポートします。ジェイアイ傷害火災保険及び関大 TRS（加入必須）により、万一の状況に備えます（参加者全員の加入手続きは、国際部で一括して行います。加入料等は参加費に含まれます）。その他、本学では日本アイラック安心サポートデスクの「緊急時安否確認システム（アイ・ファイnder）」に加入し、有事の際の安否確認など危機対応を行います。システムに関する費用については、大学負担であるため、参加者個人による支払いは不要です。

7. 申込み・参加にあたっての注意事項（必読）

【申込みにあたって】

1. プログラムごとに指定した最少催行人数に達しない場合は、不催行となります。
2. 本募集要項等で事前にお知らせするプログラム内容（授業、課外活動等）は、変更になる場合があります。
3. 渡航先の治安状況等、予期しない事態によってプログラムを変更・中止または中断することがあります。
4. 参加者の国籍によって別途査証取得が必要な場合があります。必要な場合は、参加に支障をきたさないよう各自で申請手続きを行ってください。査証が発給されない場合は参加できません。
5. 参加者は健康診断の受診が必須です。2023年度に実施の健康診断を受診していない場合は、大学指定医療機関で受診していただく必要があります（費用は個人負担）。詳細は保健管理センター事務室または各キャンパス保健室に確認してください。
6. 既往症や体調によりプログラム参加に際し、配慮が必要な場合は事前に申し出てください。
7. 原則として、参加者決定後のキャンセルや変更はできません。応募前に十分に考慮し、申込みを行ってください。

【参加費について】

1. 本募集要項に記載の各プログラム参加費は、2023年10月時点での予定です。為替レート換算をし、燃油サーチャージ料等を含んだ参加費を11月中旬に決定する予定です。また、プログラム実施後に精算をし、為替レートの変動等により、返金または追加徴収する場合があります。
2. 現地でプログラム変更等の事由により、別途費用が発生する場合は追加徴収することがあります。
3. 参加費納入後に参加を辞退する場合や出発前にパスポートを紛失し出発が遅れてしまった場合、またプログラム途中で帰国した場合、原則として参加費は返金致しません。自己都合・瑕疵による出発遅れや途中帰国した場合の追加費用は自己負担となります。
4. 関大 TRS、ジェイアイ傷害火災保険への加入は必須であり、参加費に含まれます。
5. パスポート申請・更新の手続費用は個人負担です。
6. 査証取得が必要な場合における査証及び査証代行手数料は自己負担です。また、査証が発給されなかった場合、プログラム費や渡航費等のキャンセル料がかかります。

【参加にあたって】

※以下の注意事項を守ることが出来ない場合、あるいは違反した場合は、やむを得ず中途帰国や本プログラムを中止する場合があります。

1. 派遣先大学からの指示に従うこと。
2. 現地での勉学や異文化体験を積極的に吸収する意欲を持つこと。
3. 自己責任の原則を理解して、渡航先での社会的マナーや文化、風習を理解し、本学の学生として相応しい行動をとること。
4. 参加にあたっては自身で現地に関する情報収集に努め、事前にトラブルや問題発生を防止するよう心掛けること。
5. プログラム期間中は団体行動を伴う場面もあるので、協力的な行動を心掛けること。
6. 渡航中に新型コロナウイルスなどの感染症に罹患した場合は、現地の保健衛生組織(医師)の指示に従うこと。
※感染症罹患判明後、現地で隔離の必要がある場合、滞在先の変更において発生する費用は自己負担となる場合があります。

8. 参加取り消し

参加者は、**本募集要項の記載内容及び実習での指示を遵守してください。**遵守できない者は、本プログラム参加に伴う成業を期待できないのみならず、プログラムの安全な実施と参加者全員の成果に支障をきたす可能性があるものとして、参加を取り消すことがあります。その際、手配済の航空券や宿舎などの各種手配のキャンセルに伴う費用は自己負担とします。

9. JASSO 渡航支援金について

2023 年度 海外留学支援制度（協定派遣）奨学金（渡航支援金）

支給額 **家計基準** **160,000 円**

受給要件 家計支持者**全員**の収入または所得**合計**金額が次の金額である派遣学生が対象です。

給与所得者の場合	年間収入金額（税込）が 300 万円以下
給与所得者以外の所得を含む場合	年間所得金額（必要経費等控除後）200 万円以下

※「収入」に含む： 老齢年金

※「収入」に含まない： 遺族年金・障害年金・養育費

提出書類

所得を証明する書類	
市区町村役場発行の所得証明書（写し可） ※「所得証明書」の名称は市町村によって異なる場合があります。 例：課税証明書、非課税証明書など	
給与所得者の場合	令和4年（2022年）源泉徴収票の写し ※源泉徴収票の「支払金額」欄を確認してください。 ※2人以上の収入の合算で計算する場合で、給与所得者以外の所得を含む対象者がいる場合は、給与所得者については所得金額として「給与所得控除後の金額」欄を確認してください。
給与所得者以外の所得を含む場合	令和4年（2022年）確定申告書（第一表と第二表）（控）の写し ※確定申告書（控）の「所得金額」欄を確認してください。 ※郵送や持参により確定申告を行っている場合は、写しに税務署の受付印があるか確認してください。 ※電子申告（e-Tax）により確定申告を行っている場合は、「受信通知」又は「即時通知」の写しを提出させてください。

※「所得を証明する書類」の例（写し可）

※「所得を証明する書類」は、原則 2023 年度発行のものを指します。

「渡航支援金」を希望する学生は、派遣プログラム応募時に申し出てください。

プログラム応募のあと、すみやかに**上記 2.「所得を証明する書類」**を提出してください。

採否通知 Jasso より採否決定通知を受領後に、本学より学生本人へ通知します。

10. 問合せ

関西大学・国際部

ml-kugf@kandai-pensee.co.jp

